



### 風評被害という人災

福島原発汚染視察④

今回の視察は原子力 何ごとにも利害がから  
 発電所からの放射能汚 あり、賛否両方の意見が  
 染の恐ろしさを自分の みるのは仕方がない。  
 目で確かめる旅であっ 安全対策のミスで一度  
 た。

原子力発電は安全と 放射能汚染が起きれ  
 いううたい文句で全国 ば、取り返しのつかな  
 各地に建設され、山口 い大変な事態を招くこ  
 県の上関町などにも建 とがよくわかった。  
 設が予定されている。 ましてや日本は世界



で唯一の被爆国であり、(ばく)線量に忠じて  
 素人考えかもしれない「帰還困難区域」「居  
 が原発は廃止すべきだ 住制限区域」「避難指  
 と思う。」 示解除区域」を設定し  
 にもかわらず、国 ている。農産物などへ  
 民の命を守るべき立場 の汚染もきちんと検査  
 の政府が今、原発再稼 し、安全か否かを調べ  
 働を急いでいることが ている。

にもかわらず、今 にもかわらず、今  
 理解できない。事故か も、福島産の農産物が  
 ら五年半過ぎた今も避 風評被害で売れないで  
 難生活を強いられてい 困っているのである。こ  
 る人が六万人近くいる れは人災以外の何もの  
 のに再稼働を急ぐの でもない。

は、感情的にも余りに 風評被害に対してN  
 無神経に思えるのは私 PO法人を立ち上げて  
 だけだろうか。 活動している福島県二  
 先日の新潟知事選挙 本松市のカトリック教  
 でも、原発推進派で与 会を訪ねた。同市は原  
 党の自民・公明が推薦 発汚染地域に入ってい  
 する候補が敗れたのは ない。福島は農業県で、  
 民意の表れ 汚染区域はそこく一  
 だろう。 部である。しかし福島  
 原発汚染 産というだけで売れな  
 は目に見え いう。

ないが、汚 染の度合い  
 は線量計で トリック教会の信徒が  
 素人にもわ 中心となつて「福島や  
 かる。福島 さい畑」というNPO  
 の汚染にし 法人を震災から四カ月  
 ても、専門 後に作り、安心・安全  
 家が被曝 農産物を買取り、

汚染区域外の二本松市  
 二本松市は、福島第一原発から約30km、太平洋に面している。市内には飯館村、南相馬市、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町、川内村、田村市、葛尾村、二本松市、川俣町が所在する。二本松市は、福島県庁所在地であり、人口約10万人を擁する。福島第一原発事故後、二本松市は、福島県庁の機能の一部を担っており、県庁の移転先として注目されている。

福島は米どころ、地酒もうまい  
 安全な新米をプレゼントされた



カトリック教会の組織を...  
 を中心にして東京や名  
 古屋などに販売して農  
 家を助けている。  
 風評被害は農産物だ  
 けでなく加工食品にも  
 及び、売り上げ減少が  
 続いている。復興のた  
 めにがんばっている地  
 域の人々を助けるため  
 にも、福島産のものを  
 積極的に買い、復興を  
 支援すべきことは言う  
 までもない。

建前ではなく、本音  
 で「困った時はおたが  
 いさま」精神でありた  
 今回の広島教区(中  
 国五県)からの視察団  
 ので、一般の皆さんも  
 どうぞご参加を。

今回の広島教区(中  
 国五県)からの視察団  
 ので、一般の皆さんも  
 どうぞご参加を。